令和 6 年度実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成団体	特定非営利活動法人阪神ユナイテッド
事業細目名	総合型地域スポーツクラブ活動基盤強化
事業名	阪神ユナイテッド活動基盤強化事業
助成金額	1,072,000 円
事業細目名	総合型地域スポーツクラブマネジャー設置事業
事業名	クラブマネジャー設置事業
助成金額	864,000 円

■調査内容

令和 6 年度総合型地域スポーツクラブ活動助成（活動基盤強化事業・クラブマネジャー設置事業）で特定非営利活動法人阪神ユナイテッド(以下クラブ)が行っている「阪神ユナイテッド活動基盤強化事業・クラブマネジャー設置事業」の実施状況について調査を行いました。

クラブは平成 31 年にサッカークラブとして設立され、令和 2 年から令和 4 年までスポーツ団体スポーツ活動助成を受け、令和 5 年 5 月に総合型地域スポーツクラブとして多種目の活動を始めました。現在の会員数は 49 名、活動種目は 3 種目（フットサル・サッカー、バスケットボール、モルック）となっており、阪神地域を活動拠点としております。

調査当日はモルック体験会の視察ということで芦屋中央公園芝生広場へ向かいました。体験会は、芦屋市モルック協会から指導者 2 名を招き、参加者 24 名が 6 人 1 組で 4 つの班を作り、指導者のアドバイスや審判のもと、各自がピンを倒した点数を計算しながら活動しておりました。

■助成の意義

総合型地域スポーツクラブ活動助成について、活動基盤強化事業では、講師謝金に係る費用の負担軽減やスポーツ用具購入を検討できるようになったそうです。また、クラブマネジャー設置事業においては、賃金に係る負担の軽減により、クラブマネジャーの雇用を安定させることができ、クラブの教室に関する運営も安心して行うことができるとのことでした。

■事業効果を高めるための取り組み

地元行政や芦屋市スポーツ協会、地域の商店などと連携を取り、チラシの配布などを行ったようです。

団体が抱える課題としては、高齢者世代への情報発信が足りていないため、世代に偏りがあるといった内容を挙げておりました。今後は、課題としている世代への情報発信を増やし地域への認知度を高めるため、チラシのポスティング等を実施し、会員の増加を計るようです。また、多種目への取り組みも検討しており、既存のクラブや芦屋市スポーツ協会との調整なども今後の課題として改善を図っていくとのことでした。

■所感

今回、実施状況調査を実施した所感としては、サッカー・フットサルの活動を中心に総合型地域スポーツクラブとして地域に根差したクラブ作りを推し進めている状況に感じました。運動部活動の地域移行についても、将来的に女子サッカーの受け入れを検討しているとのことでした。

現在は、モルックの活動の周知に力を入れており、体験会は世代を問わず当日参加可能な形式で開催しているそうです。指導者の確保についても芦屋市のスポーツ協会や競技団体と連携を取り、安定した運営ができるように努めているといるとのことでした。

今後も地元行政や芦屋市スポーツ協会との連携を図り、地域になくてはならない総合型地域スポーツクラブとして活躍されることを期待しております。

（令和 6 年 9 月 21 日往査）

（写真）モルック体験会の様子	
	